

2024 年の「目の健康寿命」は 62.1 歳、平均寿命より 20 年以上短い結果に

目の健康意識調査 50 代が 4 年連続で「目の不調 自覚世代」のトップ

目の不調を加齢によるものと思わず、早期の眼科受診を

ジョンソン・エンド・ジョンソン*は、日本全国の 10 代～80 代の 2,144 名を対象に「目の健康意識」について独自調査¹を実施しました。日本の平均寿命²は男性 81.09 歳、女性は 87.14 歳ですが、本調査によって、2024 年の「目の健康寿命」³は男性 61.9 歳、女性 62.2 歳（平均 62.1 歳）となり、平均寿命と比較して男性は約 20 年、女性は約 25 年「目の健康寿命」が短いという結果になりました。【グラフ 1】

* ジョンソン・エンド・ジョンソンのコンタクトレンズ事業について：日本においては、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケア ジャパン（法人名：ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社ビジョンケア カンパニー、所在地：東京都千代田区、代表取締役プレジデント：ガー ステファン）が、国内初の使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー®」を 1991 年に提供、以来 近視・遠視・乱視・老視などのさまざまな視力補正ニーズに対応する多彩な製品をラインナップしています。

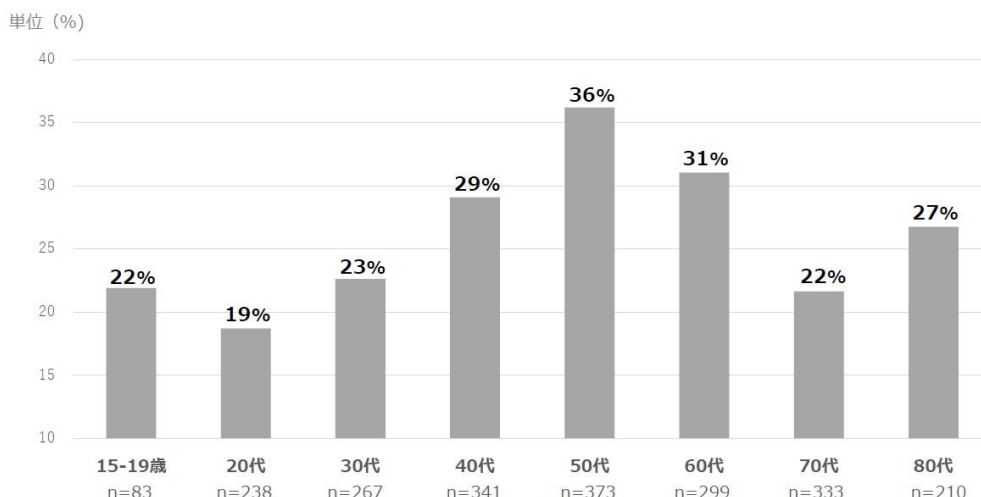
【グラフ1】「目の健康寿命」2024年
ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）独自調査



注：「目の健康寿命」の定義：自分の目が健康であると自覚している期間の平均

本調査では、「目の健康状態が良くない」と自覚している割合が全世代の中で最も多いのは 50 代（36%）となりました。「目の健康意識」の調査を開始した 2021 年から「目の健康状態が良くない」と自覚している方の割合が最も多い世代は全ての調査年において 50 代となり、4 年連続⁴で「目の健康状態が良くない」と自覚している世代という結果になりました。50 代が最も「目の不調」を自覚しやすい世代と言えます。【グラフ 2】

【グラフ2】あなたの目の健康状態を教えてください。（世代別）
（良い、まあ良い、ふつう、あまり良くない、良くない）のうち（あまり良くない、良くない）の割合



また、「目の症状がある」と回答した人のうち、症状があるにもかかわらず、この1年間「何もしていない」と回答した人は全体で32.1%となり、特に、20代男性、30代男性は4割以上の方が「何もしていない」という結果になりました。男性の若年層が、目の症状に対してアクションを起こしていないことが見受けられます。同様の質問について、コンタクトレンズ装用者に絞ると、目の症状があるにもかかわらず何もしていないという回答は17%でした。何もしていない理由は、第1位：目の症状が深刻だと思わない、第2位：眼科検査を受けるのが面倒である、第3位：視力が変わっていない、という結果となりました。

人が視覚から得られる情報量は全体の8割以上を占めるといわれており、目の健康を保つことは生活の質（QOL）においても重要です。人生100年時代の今、クオリティ・オブ・ビジョン（QOV/見え方の質）の向上を目指すことが、QOLを高めることにつながります。目の不調を加齢のせいであると放置や、自己判断をせず、目の健康状態に少しでもこれまでとの違いを自覚したら、早期の眼科受診を心がけてください。

当社は、「目の健康寿命」の延伸に貢献することをビジョンに掲げ、世界初の使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー®」シリーズで視界をよりクリアにする製品を提供し続けるとともに、トータルアイヘルスのリーディングカンパニーとして、これからも幅広い世代の目の健康と視界を守り続けてまいります。

調査概要
調査期間：2024年7月～8月
調査方法：郵送調査
調査対象：全国の男女15歳～89歳、2,144名人口構成比割付 (コンタクトレンズ使用者、眼鏡のみ使用者、視力矯正無しの方を含む)

- 1 当調査の質問項目は、厚生労働省の国民生活基礎調査・健康票調査の質問項目を参考に作成
- 2 厚生労働省 令和5年簡易生命表の概況 主な年齢の平均余命 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life23/dl/life23-15.pdf>
- 3 本調査では目の健康寿命を「自分の目が健康であると自覚している期間の平均」とジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケア ジャパンが定義
- 4 目の健康意識に関する調査は、2021年より開始し2024年で4年目

-XXX-

ジョンソン・エンド・ジョンソンのビジョン事業について

ジョンソン・エンド・ジョンソンには、患者さんの目の健康の向上を目指し革新的な製品を開発してきた長い歴史があります。毎年4,000万人もの人々の「見る力」（Vision）を支え、改善することが私たちのビジョンの実現につながるという思いを込めた“Vision Made Possible”のメッセージの下、あらゆる世代の人が見え方の向上により素晴らしい人生を送る未来の実現に貢献します。

ビジョン事業は、最先端のイノベーション、材料・光科学の専門性、先端技術により、世界初、そして日本初の使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー®」や、白内障手術領域や屈折矯正手術領域における眼科医療機器、医薬品、サービスを提供し、トータルアイヘルスのリーダーとして患者さんの視力および視機能向上に取り組んでいます。人生100年時代と言われる今、目の健康寿命の延伸に貢献します。

詳しくは以下 URL をご覧ください。
<https://www.acuvue.com/ja-jp/>
<https://www.jnjvisionpro.com/ja-jp/>

ジョンソン・エンド・ジョンソン について

ジョンソン・エンド・ジョンソンは、健康こそすべてだと考えています。ヘルスケアイノベーションにおける私たちの強みが、複雑な病を予防、治療、治癒し、治療をよりスマート化した、低侵襲なものに進化させ、一人ひとりの患者さんに合ったソリューションを提供することができる世界を築く力になります。Johnson & Johnson Innovative MedicineとMedTech（メドテック）における専門性を生かし、将来の飛躍的な進化に向けてヘルスケアソリューションの幅広い領域でイノベーションを推し進め、人々の健康に大きなインパクトを与えています。

©Johnson & Johnson K.K. 2025 ®登録商標 2025PP10851

Vision
Made
Possible™